



耳原総合病院 内科
イワサキ ケイコ
岩崎 桂子

第14回 耳原総合病院 地域医療連携をすすめる会

当院における糖尿病パス入院及び、療養指導外来について

当院における糖尿病治療体制のご紹介

- 入院:耳原総合病院
- ▶糖尿病教育入院件数:
79件(24年度糖尿病教育入院・2週間コース)
その他、一般入院・他疾患に合併した糖尿病
- 外来:耳原総合病院・老松診療所
- ▶外来管理数(老松):1400人
- ▶診療体制(老松):12単位/週

教育入院の概要

- 入院人数
79人(平成24年度)
- 入院期間及び特徴
1クール・2週間。2週間毎に男女グループを入れ替える。患者様4名が同室でグループワークを行う合宿のようなスタイル。年齢制限なし。一般入院の方も講義参加可能。
- 体制(数字は1クールに関わる人数)
医師(3名)・看護師(複数)・栄養士(3名)・薬剤師(1名)
- 療養指導士(7人)
健康運動療法士(1名)・MSW(1名)
歯科衛生士(1名)・調理師(1名)

当院における糖尿病治療入院適応

- ▶血糖コントロール困難例:
内分泌能評価・糖毒性の改善・治療の見直し
- ▶合併症の評価・治療:
腎機能・網膜症の評価及び神経障害評価
大血管障害の評価
- ▶療養指導:栄養指導(調理実習あり)
運動療法(健康運動療法士)

当院の教育入院の特色

- ▶グループワーク
- ▶2週間の入院期間
- ▶健康運動療法士による運動療法

教育入院の紹介(糖尿病教室スケジュール)

曜日	午前	講師
月	糖尿病教室入院についての説明	
火	BMI・肥満度・カロリーの計算	看護師
水	低血糖の対処の仕方	医師
木	糖尿病内服薬	薬剤師
金	糖尿病とは?	医師
土	外泊時の注意事項	看護師
曜日	午後	講師
月	糖尿病教室入院についての説明	
火	糖尿病とは?	医師
水	ストレッチ体操	トレーナー
木	調理実習/コントロール目標	調理師/医師
金	栄養指導	栄養士
土	外泊時の注意事項	看護師
曜日	午前	講師
月	社会福祉について	MSW
火	日常生活指導	看護師
水	合併症について	医師
木	インスリンについて	薬剤師
金	シックデイについて	医師
土	長期コントロールにむけて	看護師
曜日	午後	講師
月	フットケア	看護師
火	歯磨き指導/インスリン抵抗性	歯科衛生士/医師
水	エルゴメトリー	理学療法士
木	献立説明/栄養指導/合併症について	調理師/栄養士/医師
金	治療について	医師
土	長期コントロールにむけて	看護師

●オリエンテーション



4人が同じ部屋で寝起きを共にする当院の教育入院は看護師のオリエンテーションで始まります。ここでは教育入院を自己管理の方法を身に付ける合宿をイメージして頂き個々の目標を出しあいます。また2週間を充実した良い時間になるようお互いに協力・力を合わせて頑張ろうと共通の目標もたてます。

●カンファレンス



医師・薬剤師・管理栄養士・調理師・看護師・ケースワーカーが参加します。(週1回)
ここでは患者一人一人が教育入院を共に過ごす仲間の中でどのように役割を果たしてもらうか話し合い意識的にサポートできるようにします。

●講義の様子



勉強もします…



栄養指導

フットケアの指導



歯磨き指導

●実習



実習が楽しみの方も多いです…



●糖尿病連携パスのイメージ

定期的管理

- 回復期医療施設・維持期(診療所・老人保健施設)
- 血糖コントロールが安定するよう管理等
- 薬の処方/血液検査・尿検査
- 日常生活の指導/合併症の治療

糖尿病の疑い
糖尿病と診断
されたら…

糖尿病連携パス

精検・教育入院

専門的病院

- 教育入院・血糖コントロール不良の改善
合併症進行を防止等
- 合併症の定期検査と治療/コントロール悪化時の指導
併発症への対応/療養指導

(堺市医師会地域連携パス資料)

地域の先生方のお役に立ちます
～お気軽にご相談ください～

こんなとき一度
当院、地域連携室に
ご紹介ください

- ▶糖尿病:薬剤選択・治療方針の見直し
インスリン・インクレチン製剤など注射製剤の導入
- ▶合併症の定期評価 ▶外来療養指導

※堺市医師会地域連携パスを運用しております。

専門的な看護の実践・指導・相談を 活発に活動していきたい

副総看護師長
ハルキ ヤスコ
春木 康子



超高齢化社会をむかえ、独居や老老介護など様々な問題を抱えた急性期治療の必要な高齢者が多く入院されます。認知症の症状によって上手くコミュニケーションがとれない、入院に伴う環境の変化や治療によるストレスからせん妄や認知症の行動・精神症状が増強し、治療がスムーズにいかない事態もみられます。病棟師長として短い在院日数の中で効果的に治療が行われ、患者様・ご家族様が出来る限り安心でより良い状態での療養・退院支援が求められると感じます。現在、高齢者対策チームのメンバーとして活動し、医師をはじめとしたリハビリセラピスト、医療ソーシャルワーカーなど多職種で週1回のせん妄対策ラウンドを行っています。「おむつ交換やケアの場面で暴力行為がみられ困っている」「徘徊し転倒のリスクが高いので、車椅子でナースステーションに居られる」「点滴や検査を拒否し治療に協力が得られない」「夜中に声を出して同室者から苦情が出ている」など問題は様々です。現場の看護師はせん妄や認知症患者の対応に苦慮し、忙しい業務の中でゆっくり対応できず、さらに患者様の行動・精神症状を悪化させ、悪循環を呈していることもあります。また、せん妄や認知症の症状にばかりに気をとられ、身体的疾患の症状を見落したり、必要な治療が継続できない事態を招くことも懸念されます。高齢者の特性や認知症を正しく理解し患者様の状態を統合的にアセスメントする力、患者様のケアニーズにあった対応が出来る知識と技術が求められます。私達は患者様やご家族様にとって安心・安全・信頼の医療、看護が提供できるよう日々努力していきたいと思っています。

超高齢化社会をむかえ、独居や老老介護など様々な問題を抱えた急性期治療の必要な高齢者が多く入院されます。認知症の症状によって上手くコミュニケーションがとれない、入院に伴う環境の変化や治療によるストレスからせん妄や認知症の行動・精神症状が増強し、治療がスムーズにいかない事態もみられます。病棟師長として短い在院日数の中で効果的に治療が行われ、患者様・ご家族様が出来る限り安心でより良い状態での療養・退院支援が求められると感じます。現在、高齢者対策チームのメンバーとして活動し、医師をはじめとしたリハビリセラピスト、医療ソーシャルワーカーなど多職種で週1回のせん妄対策ラウンドを行っています。「おむつ交換やケアの場面で暴力行為がみられ困っている」「徘徊し転倒のリスクが高いので、車椅子でナースステーションに居られる」「点滴や検査を拒否し治療に協力が得られない」「夜中に声を出して同室者から苦情が出ている」など問題は様々です。現場の看護師はせん妄や認知症患者の対応に苦慮し、忙しい業務の中でゆっくり対応できず、さらに患者様の行動・精神症状を悪化させ、悪循環を呈していることもあります。また、せん妄や認知症の症状にばかりに気をとられ、身体的疾患の症状を見落したり、必要な治療が継続できない事態を招くことも懸念されます。高齢者の特性や認知症を正しく理解し患者様の状態を統合的にアセスメントする力、患者様のケアニーズにあった対応が出来る知識と技術が求められます。私達は患者様やご家族様にとって安心・安全・信頼の医療、看護が提供できるよう日々努力していきたいと思っています。

新病院建設 ニュース

新病院建設 & 新病院ゆるキャラ

新病院建設 タワークレーン運行!

建設工事、順調にすすんでいます。

10月よりタワークレーンが運行し、みるみる建設がすすんでいます。日々変化する建設現場のようすや、一生懸命はたらく建設労働者のみなさんの姿に、奥村病院長はじめ、医療スタッフもみな元気をいただいています。年が明ければ、鉄鋼の組み立てがはじまります。めまぐるしく変わる変化を引き続き発信していきたいと思ひます。



タワークレーンの運転席

みみはらゆるキャラ48

センターキャラ、メインキャラ決まる!

今年の2月から3月まで、「耳原新病院 新病院ゆるきゃら」を公募したところ、53体のキャラクターが寄せられました。

応募者は、入院中のお子さん、友の会の方、スタッフ、地域の方などです。どれも、みみはらへの思いのこもった素敵なキャラクターたちばかりです。協議の結果、応募いただいたすべてを採用させていただき(※応募条件に満たないものは無効とさせていただきます)、そのなかから、メインキャラ4体、センターキャラ1体を決めるための「みみはらゆるきゃら48 メインキャラ選抜総選挙」を7月～8月に実施。総投票数は255票でした。ゆるキャラにご応募いただきましたみなさん、投票いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

これから、毎月、みみはらゆるキャラ48メンバーを順次紹介させていただきます!お楽しみに♪

※みみはらゆるキャラ誕生を記念致しまして、全ゆるキャラデザインのグッズを作成しました。



みみ太 & みみら

みみ太は「仁徳天皇陵」、みみらは堺市の花「花菖蒲」がモチーフです。明るく、元気で、安らぎをあたえる性格で、365日質の高い医療の提供でがんばります。